



2021年6月10日 発行  
公益財団法人 山梨YMCA  
〒400-0032 甲府市中央3-10-7  
Tel.055-235-8543 fax055-235-8553  
www.yamanashiyymca.org  
発行人 / 露木淳司  
編集人 / 中田純子 風間奈月

## 『地の塩、世の光』



公益財団法人山梨YMCA

理事長 野々垣 健五

今から60年以上も昔の私が高校生の時、故・大澤英二先生率いるハイ・スクールYMCAというクラブ活動がありました。その時にクラブの機関誌として発行されていたのが「光塩」でありました。思い返せば、大澤英二先生ご夫妻からの指導はこの時より始まっていました。新約聖書「マタイによる福音書5章13節～16節」に表われています。私は、山梨YMCAの事業運動は正に『地の塩、世の光』であると考えています。この時代において、「色々な意味で厳しい状況にある方々への応援団」という存在が『地の塩』であり、そして「ここに山梨YMCAという灯りあり」となるのが『世の光』と考えてよいのではないのでしょうか。YMCAは、厳しい社会、世の中にあって希望の光を欲している人達、将来の為に勉学、修練をしたいという志ある人達に、必要な技術と知恵を提供する機関であると考えます。

『地の塩、世の光』は強くないと遠くまで届きません。遠くまでとなるには、中央3丁目のみではなく、中央3丁目～下石田～中央市布施～岡島7階とを有機的につないでいき、更に地域を広げて照らしていこうという強い意欲が必要です。

今、山梨YMCAには90名のスタッフ、ボランティアの方々、そしてボランティアのワイズメンズクラブもおられます。私は山梨YMCAにおいて、『地の塩、世の光』となる事業に実業を結び付け、人件費、維持費、銀行借入返済を消化しながら活動する堅牢な仕組み作りを仰せついています。



山梨YMCAは75年前、1946年5月に英語、キャンプ活動からスタートし、現在は保育園、チャイルド・ケア、介護デイへと広範囲の世代に関わりを広げています。そして更に、知育の発達の支援、共稼ぎ家庭の子供達の教育、仲間づくりの支援を続けていき、遠くまでしっかりと届く『地の塩、世の光』でありたいと願います。

「あなたがたは地の塩である。」

マタイによる福音書5章13節



山梨YMCAに新たに「にじの家」という施設が与えられました。「ノアの箱舟」の物語のラストシーンには、神様が人間との契約のしるしとして虹をかける様子が描かれています。旧約聖書創世記の6章から9章にかけての物語で、神様は人間が悪いことばかりすることを嘆いて、すべての生き物を作ったことを後悔し、洪水を起こして滅び去らせる決断を下します。そんな中で一人心清らかなノアが選ばれます。ノアは箱舟を作らされることになり、ノアの家族とあらゆる生き物をつがいで乗せるように命じられます。洪水は40日間続き、箱舟にいた者だけが生き残ります。やがて水が引き始め、鳩がオリーブの葉を運んできたことでノアは陸地が近づいたことを知ります。地上に戻ると神様はノアたちにすべての生き物の管理を委ねます。そしてもう二度と洪水を起こさない約束のしるしとして虹をかけるのです。

この時から人類は地球上の生態系の管理を任されました。私たちは常にこの原点に立ち返って、この美しい地球を維持すべく、決して戦争や環境破壊で汚すことのないように、日々の暮らし方に心を配って生きていかなければいけません。「虹」という言葉には神様と人類との間に交わされた契約という大きな意味があります。それに加えて、虹は七つの色で成り立つものですが、子どもたちも一人ひとりが自分の色を持っています。それぞれの色が一つでも失われると虹にはなりません。「にじの家」は一人ひとりの個性あふれる子どもたちみんなにとっての居場所です。このことは将来子どもたちが大人になっても多様性に対する寛容な心や多文化共生の生き方を身に着けて欲しいという願いが込められています。そんなも思いを秘めて、この新しい施設を「にじの家」と呼ぶことにしました。

## 4/1 甲府市放課後児童クラブ引越しました！

本館からにじが掛けられた場所が「にじの家」です。民家だったところを整理し活動の場所を広げました。靴を脱いで上がり荷物を置いて学習をし、おやつを食べ他校のお友達の帰りを待って遊んだりして交流を深めています。自分の家のようなお友達の家のような、祖父母の家のようなリラックスして過ごせる居場所づくりを目指しています。秘密基地のような広い庭があり、1階の和室では習字教室を行っています。2階では工作をして創造力をつけ、新しいゲームを考えて遊び、想像力や社交性を高めてひとりひとりの個性を伸ばして自分たちの色に染まっていてもらいたいと願っています。本館では見られなかった子どもたちの新たな一面もにじの家では見ることができます。(田草川啓)



## 6/1 ぽかぽか教室スタート！

ぽかぽか教室では、「ことばが遅い」「お友だちとうまくコミュニケーションがとれない」「気持ちの切り替えが難しい」「落ち着きがない」「運動がきこえない」「手先が不器用」など成長に支援を必要とする子どもたちの療育スペースです。「できたよ」「体を動かすって楽しいな」「ドキドキするけれど、やってみよう」などの気持ちを大切に、子どもの個性を受け止め、スモールステップで成功体験を積み上げていけるよう、一人ひとりに合わせた個別の療育、小集団グループ療育等様々なプログラムを行います。また、相談スペースを設け「子どもとうまくかかわれない」「子どもの成長・発達が心配」など保護者の悩み・不安もサポートします。お子さんはもちろんのこと、保護者の方にも“ぽかぽか”した心で毎日が送れるよう、サポートします。(守屋瑞穂)



# 6月1日から中高生プログラムスタート！

## 放課後等デイサービス「きらきらプラス」

これまでも、甲府市南西部に位置する「南西望みの家」において、放課後児童クラブと放課後等デイサービスを展開してきましたが、この度、そこから50mほど離れた場所に新たな拠点として「南西望みの家B館」をオープンさせることができました。これまでの場所からは徒歩1分ほど、目の前には公園があるという好立地です。建物は2階建てで、1-2階ともに広々とした教室が確保できました。ここでは、6月から放課後等デイサービス「きらきらプラス」を新規開設します。対象は、近隣の中学生を中心に、学習支援（宿題、課題、テスト対策など）、学校生活の振り返り、スケジュール管理、体験活動等を行っています。キッチンもリフォーム済みなので、調理の活動もできそうです。すでに、利用者が増えつつあり、放課後の時間（17:00～19:00）として、ここに集まって学習に取り組んだり、学校の情報交換をしたり、趣味を楽しんだり、それぞれの過ごし方で楽しんでいます。



生徒さんの作品です



6月11日開所式

## 教育心理研究所

山梨YMCAでは、2年前から学校生活に苦戦している中学生・高校生のために、居場所づくりや学習支援を中心としたプログラムを検討してきました。そこで、本年4月から、ユースエンパワメント事業の一環として「山梨YMCA 教育心理研究所」を立ち上げ、中高生プログラムの開発、相談、心理的援助等を行っています。開設は週1日（毎週火曜日16:00～20:00）ですが、職員として公認心理師・臨床心理士・臨床動作士の資格をもつ者、学校心理士の資格を持つ者、計2名のスタッフを配置し、対応にあたっています。本館グローバルコミュニティーセンター2階の面談室を中心に活動していますので、興味のある方はのぞいてみてください。さらに、6月からは、学校生活に苦戦している中学生・高校生それぞれに対するプログラムがスタートしています。以下をご覧ください。

## 山梨YMCA 教育心理研究所

開設日時  
毎週火曜日（祝日も除く）  
16:00～20:00



## 高校生支援プログラム「ココカラゼミ」

6月1日から、先程紹介した「教育心理研究所」の活動の一つとして、苦戦している高校生のための「ココカラゼミ」をスタートしました。「ココカラ」とは、「ココろとからだ」と「ココから、スタート！」という二つの意味を掛け合わせて、ネーミングしたものです。いかがですか？コンセプトは「自分らしく豊かに生きるための学びを提供します。」です。また、「ココカラプログラム」の内容として、「ストレスへの対処方法を学びます」「自己肯定感を高めます。」「自分に合ったコミュニケーションの方法を考えます。」「気楽な時間を過ごします。」の4つのポイントを挙げています。開設は、毎週火曜日の18:00～20:00、本館グローバルコミュニティーセンター2階の教室です。前半は、学習（学生スタッフのサポートが受けられます。）、後半は、「ココカラプログラム」を話し合いながら進めていきます。プログラムの例としては、「第2回 ちょっと先の未来図① イメージの働きを知ってる?」「第4回 コミュニケーション講座① コミュニケーション能力なんかクソくらえ!」となっていますがいかがですか？少しユニークなタイトルですが、それぞれの参加者が、自分らしさを発揮して欲しいという願いから考えました。興味のある方はのぞいてみてください。

### <活動の流れ>

- 18:00～ 来所  
学習サポート  
\*自習を中心に学生スタッフがサポートします。
- 19:00～ ココカラプログラム  
\*一人一人のテーマに合わせて進めます。
- 19:40～ リラックスタイム

山梨YMCAのホームページに案内を掲載しています。

具体的な問い合わせは、  
070-3953-0311（担当：土肥満）  
にお願いします。

## サッカースクール

ヴァンフォーレ甲府の大竹雅人コーチによる指導のもと、山梨YMCAのグラウンドで行っています。4月から始まったサッカースクールですが、6月から新ユニフォームを着て、汗を流して走り回っています。

(毎週金曜日16:00～17:00)



## オリーブの木

オリーブの木は高齢者のデイサービスセンターです。甲府市在住で要介護認定を受けた方に利用していただいております。理学療法士が常駐しており、残存機能の維持向上のために働きかけ、ご自宅での生活が安全にまた充実したものに近づけるようお手伝いさせていただいております。



## Connect with our future ～SDGsへつながる一歩～

15 陸の豊かさを守ろう



山梨の地で自然と調和する時間。

与えられた大地の豊かさが身に染み、自然の恵みに感謝して、緑と共存・共生する野外活動。



14 海の豊かさを守ろう



海のない山梨県。しかし、海の生物から命をいただく機会が日常となっている今、海の環境を守るため、プラスチックごみを出さない。ごみがある場合は分別してリユースへ。



10 人や国の不平等をなくそう



年齢、性別、国籍、障がいの有無に関わらず、みんなが手を取り合う。一人ひとりが個性を見つけ、隣人とつながり、ともによくなっていく場所。



## SNS情報！

山梨YMCA公式ホームページは、リニューアルへ向けて準備中！

<http://www.yamanashiyymca.org>

Twitter、Facebookではリアルタイムで、情報や様子を更新中です。



Twitter

チャイルドケアアカウント



Facebook

山梨YMCA公式ページ

## 表紙の写真から



5月より新しい定例野外活動「ベジブルズ」を開始しました。土や植物に触れ、リラクゼーション効果を得ながら一から食べ物を育てていく「ファーマー」と、その月ごとの旬を堪能していく〇〇狩りシリーズの「ピッカー」。

どうやって野菜や果物ができていくのか、本当の旬はいつなのかを楽しく美味しく学んでいく野外活動です。(露木魁人)